授業づくり　　〇個の違いへの対応

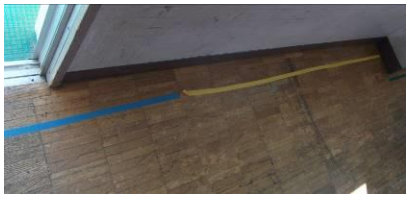
〇教室掃除でまっすぐにぞうきんがけができるようにするための手立て

【なぜこの支援が有効になるのか】

・そうじをする自分の担当場所が分かる。（責任を持って行える）
・ぞうきんをどの方向に向かってするのかが分かる。（掃除をした足跡が残る）
・ぞうきんがけを何回行えばよいか分かる。（掃除の見通しができる）
・掃除のやり残しなく、隅々まで掃除できる。

〈支援・指導の実践例〉

教室掃除：ぞうきんがけ掃除



①担当場所を示す

・本人の決まったカラーテープを貼る。

②目標地点を示す

・ぞうきんの巾と同じ長さの画用紙に番号を書き、そのカードを教室の両端に置く。

③目標のカードを見て、ぞうきんがけをする

・同じ番号の所を往復する。

④終わったところからカードを回収する。

・どこまで終わったかが、はっきりする。

＜成果＞①自分の担当場所が色別に明確に分かるので、掃除の見通しが立つ。
②自分の担当場所を何回、ぞうきんがけをするか分かる。
③目標地点を目指してまっすぐにぞうきんがけができる。
④やり残しなくきれいに掃除ができる。
掃除時間いっぱい集中して行うことができる。

根本小学校　　阿部裕美・加藤明子